

# 地域社会との密接な連携を築こう

～ 学校・家庭・地域の橋渡しを担うPTAをめざして ～

## 豊川市立千両小学校PTA

### 1 学区及び学校の概要

本校は、明治14年に現在の千両保育園付近に千両尋常小学校として開校した。豊川市の中でも伝統のある学校である。そして、昭和53年に現在の位置に移転をした。豊川市の北部に位置し、自然に恵まれた環境で、学校の北側には台の山があり、展望台からは、三河湾を一望することができる。また、外国籍児童が多いのも、本校の特徴の一つである。114名の児童は、「やさしい子 かしこい子 たくましい子」の校訓のもと、明るく元気に学校生活を送っている。

### 2 研究のねらい

地域の方々に学校行事等に参加していただくことにより、学校に関心を持っていただく。子ども達に学校、地域、家庭に見守られながら生活しているということを感じさせることで、支えて下さっている方々に感謝の気持ちを持たせるとともに、子ども達の健やかな成長を目指す。

### 3 研究の仮説

子どもたちが、保護者とともに地域の人たちと一緒に体験活動をすることで、子どもと地域の方たちとの間で共通の話題をもつとともに、つながりの輪が広がるであろう。そして、それが、家庭や地域の教育力を高めることにもつながるであろうと考えた。

### 4 研究の方法

PTAが核となり、地域・家庭が気軽に参加できる行事や研修を考え、年間計画に位置づける。

### 5 研究の実践

#### (1) 収穫祭 ～地域に感謝して～

千両小では、全校児童を10のたてわり班に分け、たてわり班ごとにさつまいもの栽培をしている。地域のブランド「千両いも」を育てる「千両会」の方々のサポートを受けながら、1年を通じて苗植え・草取り・芋ほり等の活動を行っている。それらの活動の協力をするために、PTAからもボランティアを募り、親子で農園の草取りをしたり、「収穫祭」の運営のために子どもたちが収穫した芋を焼いたりしている。



収穫祭に参加した保護者は、会が始まる前に炉の準備をし、火を起こした。そして、子どもたちのゲームに興じる姿を見ながら芋を焼いた。ゲーム終了後、子どもたちとともに、焼き上がった芋をほおぼる姿があった。4割近くの保護者の参加があった。

#### (2) 千両ふれあいフェスティバル ～地域の方に、発信する～

総合的な学習「ときめきタイム」などで、地域の方々から学んだことを発表する「千両ふれあいフェスティバル」も、地域の方々を招いて行う全校をあげてのイベントである。PTAとしては、家庭科室をお借りして、ぜんざいを用意し、子どもたちの発表の鑑賞の合間に、地域の方々を含め保護者にふるまう活動を行った。（コロナ禍前）

### （３）資源回収 ～地域でのサポート～

年に２回行っている資源回収は、資源物を校区内のリサイクル業者に直接持ち込む形で、大きな収益をあげている。昔ながらの地区は、農業に携わる家庭も多く、地域の方々の協力もあって、各家庭の軒先から、スムーズに運び込まれている。団地や新興住宅地区については、運搬用の車が少ないため、これまでも携帯等で連絡を取り合って、サポートをし合っていたが、PTA委員のSNSを活用することにより、よりスムーズに回収やサポート等ができるようになった。

### （４）にこにこあいさつプロジェクト ～地域に見守られて～

10月中旬の1週間「元気にあいさつのできる学校」をめざしニコニコあいさつプロジェクトを行っている。期間中の子ども達の登校時に、保護者が児童玄関に立ちあいさつカードを掲げながらあいさつ運動を行っている。この「にこプロ」活動も、地域の見守りサポーターなどの協力もあり、地域一体として継続した活動となっている。子どもたちの明るいあいさつの声は、参加者の元気のエネルギーの源となっている。



### （５）校区合同防災訓練 ～地域からの発信～

地域から発信された取組として、校区合同防災訓練がある。町内会が市の事業を利用し、校区にある加山興業や消防団の協力を要請することで実現をした。5, 6年児童が参加し、体育館に段ボールで仕切りを作り、非常食を食べ、水消火器を使った訓練を行った。その際購入した段ボールパーテーションは、体育館・市民館で、災害用に保管している。（コロナ禍前）



## 6 研究の考察

家庭と地域が連携し、ともに教育活動を支えることで、子どもは多くの人とふれあう中、心身ともに健やかな成長を遂げていると感じている。PTAが学校・家庭・地域の橋渡しをすることで、つながりの輪が広がり、学校に協力していこうという気風が根付く。そして、家庭や地域の教育力の高まりは、教員や子どもにとって、多くの人から支えられているという安心感を与えられたのではないかと考える。

## 7 終わりに

PTAの活動を終えた保護者の方から、こんな言葉を聞いた。「PTAのお役をやる前は、面倒だなと思うけど、やってみると楽しいし、役が終わると、今度は協力しようという気になる」今後も、今までの活動を継続・工夫をしながら、子どもの成長を育んでいきたい。